

令和2年度 宮城県地域年金展開事業実施結果

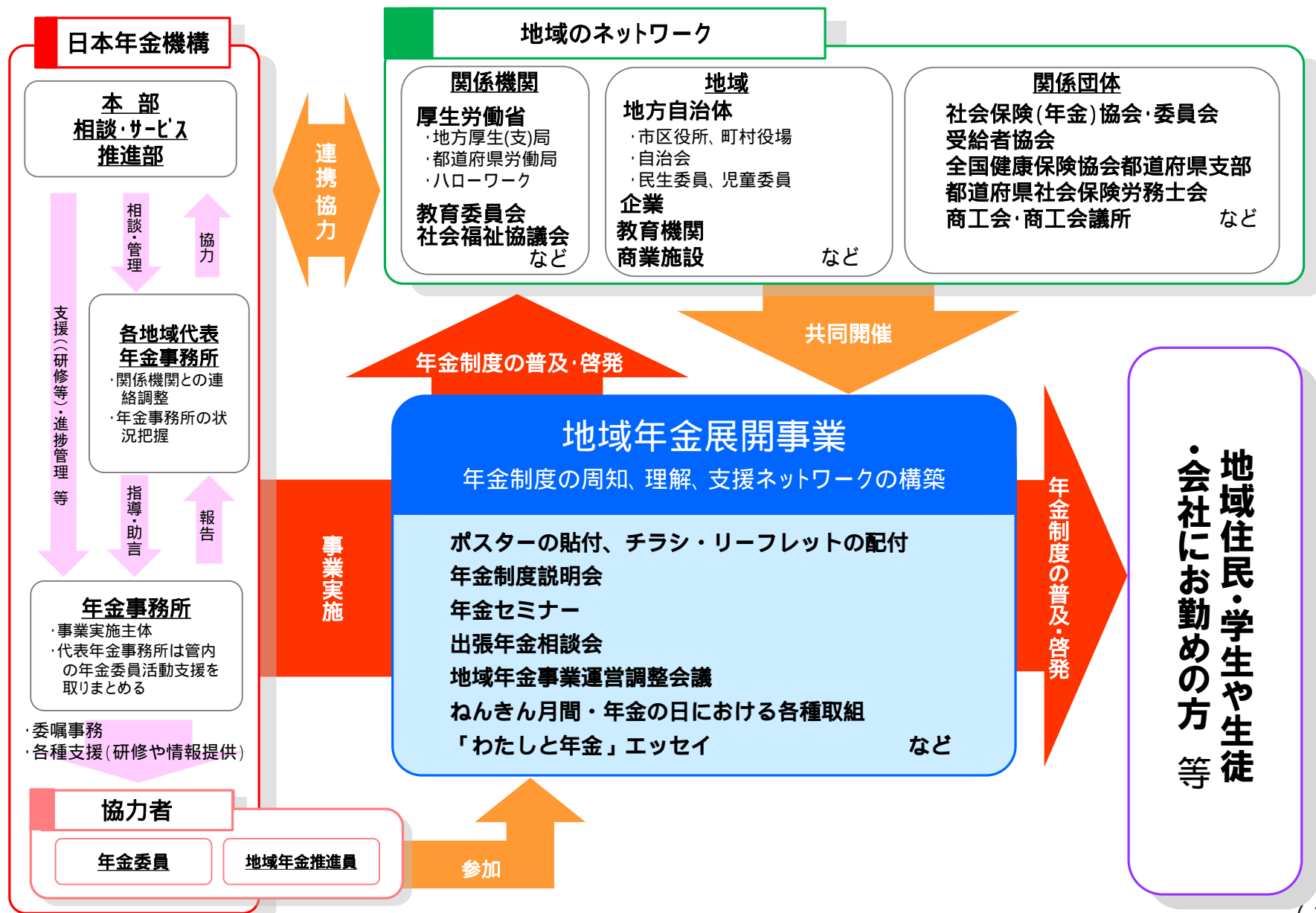


仙台東年金事務所
(宮城県代表年金事務所)

目次

地域年金展開事業の概要	P 2、3
1 地域連携・相談事業	P 4
(1) 事業の取組状況	P 5 ~ 12
(2) 取組状況の総括と今後の対策	P 13
2 年金セミナー事業	P 14
(1) 事業の取組状況	P 15 ~ 18
(2) 取組状況の総括と今後の対策	P 19
3 年金委員活動支援事業	P 20
(1) 事業の取組状況	P 21 ~ 23
(2) 取組状況の総括と今後の対策	P 24
4 「ねんきん月間」「年金の日」の取組	P 25
5 宮城県地域年金事業運営調整会議	P 26 ~ 30
6 年金事務所の取組	P 31 ~ 36

地域年金展開事業の概要（1/2）



地域年金展開事業の概要（2/2）

地域年金展開事業の主な取組

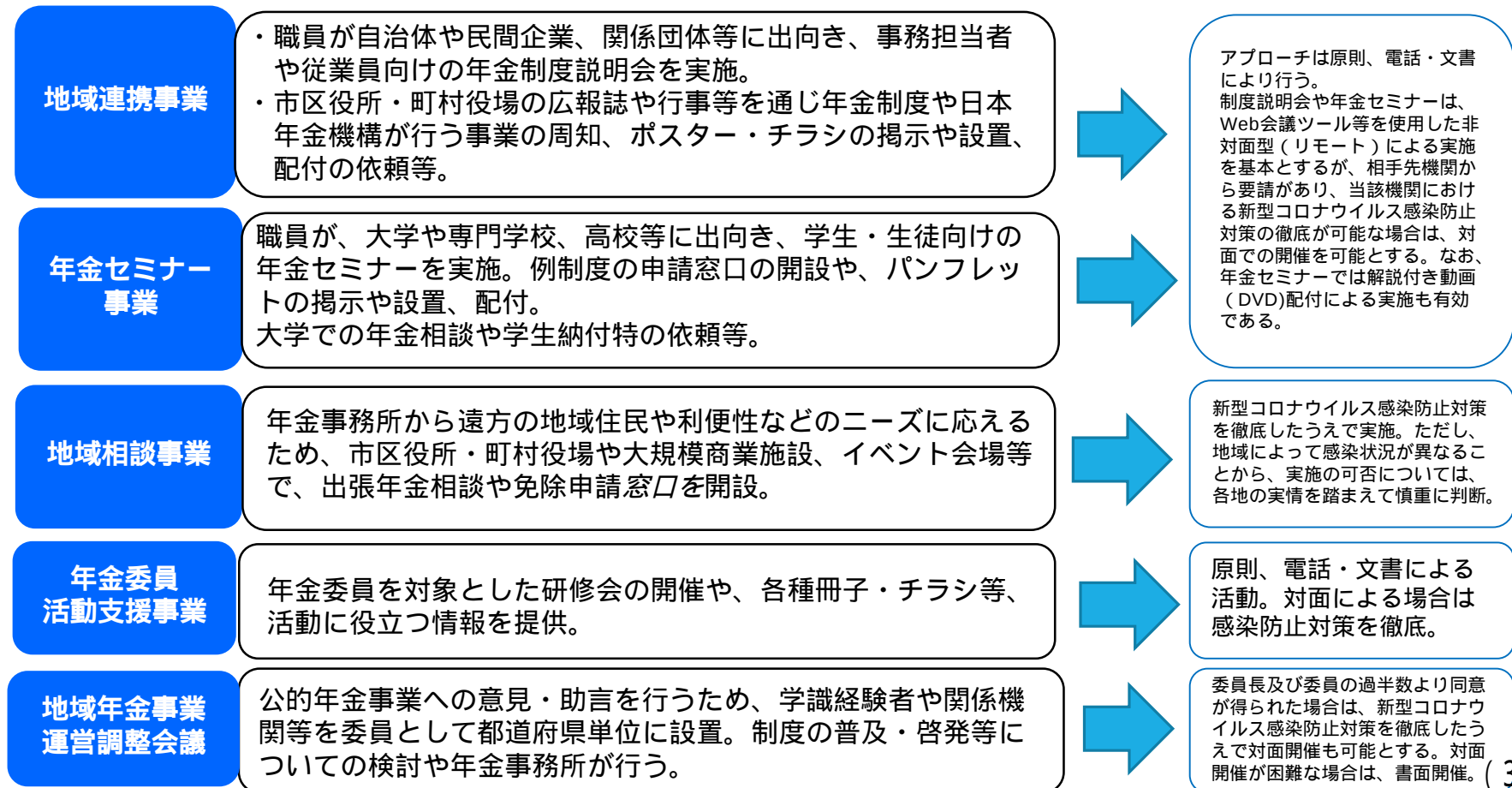
公的年金制度の普及・啓発や国民年金保険料収納の向上等のため、関係機関との連携協力のもと『年金制度説明会』や『年金セミナー』、『出張年金相談』等を実施します。

また、日本年金機構が取り組む公的年金制度の普及・啓発活動について、都道府県ごとに関係者や有識者からなる『地域年金事業運営調整会議』を開催し、事業推進の意見や助言を伺います。

なお、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮した取組を実施しています。

《これまでの取組内容》

《コロナ禍での取組内容》



1 地域連携・相談事業

正しい年金制度の知識や手続き、制度改革等の情報を地域において周知することは、地域年金展開事業の核となる重要な取り組みであるため、市区町村、自治会、事業所、関係機関、関係団体（年金受給者協会、社会保険労務士会、社会保険委員会、社会保険協会等）と連携し、地域に根付いた情報提供活動を実施することとしています。

具体的な取り組みとしては、上記団体へのチラシ・ポスターの配布や年金ポスターコンクールの開催、「わたしと年金」エッセイ募集、市区町村役場や商業施設等で行う出張年金相談会等があります。

(1) 事業の取組状況

自治体との連携

県内の市区町村職員を対象に各年金事務所で事務研修会等を開催、国民年金事務担当者に対し情報誌「かけはし」を隔月発行する等して、制度周知及び情報共有を図りました。

また、市区町村発行の広報誌等へ年金出張相談会及び保険料納付相談会等の開催情報を掲載の上、相談会を実施し制度の周知等を図りましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により前年と比較して実施回数は減少しています。

○事務研修会開催状況

	令和元年度 実施回数	令和元年度 出席人数	令和2年度 実施回数	令和2年度 出席人数
仙台東	3回	29名	2回	18名
仙台北	2回	27名	0回	0名
仙台南	1回	10名	0回	0名
石巻	1回	15名	0回	0名
古川	4回	35名	13回	76名
大河原	1回	9名	0回	0名
計	12回	125名	15回	94名

○市町村向け情報誌「かけはし」



市区町村役場における出張年金相談の実施

例年、年金事務所に来所するには時間のかかるお客様の利便性を考えて、年金事務所職員が遠隔地にある市区町村役場における出張年金相談を実施しているところですが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、常設されている気仙沼相談所における年金相談及び南三陸町役場における出張年金相談のみの実施となりました。

○ 出張相談実施状況

	実施場所	令和元年度 実施回数	令和元年度 対象人数	令和2年度 実施回数	令和2年度 対象人数
仙台東	七ヶ浜町	1回	3名	0回	0名
仙台北	大和町	1回	2名	0回	0名
石巻	気仙沼市	240回	4,507名	243回	3,940名
石巻	南三陸町	6回	29名	5回	18名
古川	登米市	12回	96名	0回	0名
		260回	4,637名	248回	3,958名

関係団体等に対する研修会・説明会等の実施

各関係団体主催及び共催による研修会・説明会等への講師派遣、宮城県社会保険協会発行の広報誌「社会保険みやぎ」による制度周知、適用事業所に対しての事務講習会等を実施しました。

しかし、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、例年実施していたハローワークでの離職者に対する国民年金の加入・免除手続き等の説明会をはじめ、一部の説明会等の実施はできませんでした。

○ 関係団体等研修会等開催状況

	令和元年度 実施回数	令和2年度 実施回数	開催年金事務所	内容
社会保険協会	10回	0回	-	-
社会保険労務士会	4回	0回	-	-
年金協会	5回	2回	仙台東、大河原	年金給付・年金制度
公共職業安定所 (ハローワーク)	79回	0回	-	-
適用事業所	8回	3回	仙台東、石巻、古川	年金給付・年金制度・適用業務
その他	12回	2回	古川、大河原	年金給付・年金制度
計	118回	7回		

その他の取組

- ・宮城県仙南保健福祉事務所の生活保護担当者に対し年金制度説明会を実施。
- ・ハンズ太白において保護者向けの障害年金制度説明会を実施。

「わたしと年金」エッセイ募集の取組

年金事務所内において、「わたしと年金」エッセイ募集についてのポスター掲示を行うとともに、教育委員会や各教育機関への協力依頼、県政記者クラブへのプレスリリース、広報誌「社会保険みやぎ」に記事掲載を依頼する等、外部機関への周知依頼を行いました。

○「わたしと年金」エッセイ応募状況

「わたしと 年金」 エッセイ 応募状況	一般		学生						合計	
			中学生		高校生		大学生			
	令和 元年度	令和 2年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 元年度	令和 2年度
全国	104件	54件	11件	8件	1,132件	877件	43件	3件	1,290件	942件
東北	16件	12件	0件	0件	35件	10件	0件	1件	51件	23件
宮城	2件	1件	0件	0件	0件	0件	0件	1件	2件	2件

「第2回宮城県年金ポスターコンクール」の実施

令和元年度から取組みを開始した年金ポスターコンクールについて、令和2年度も宮城県内の中学生を対象に、コンクールを開催しました。応募状況については、昨年度の92作品を上回る県内14中学校から97作品の応募があり、その中から厳正な審査を行い各賞が決まりました。

作品の中にはご家族全員が桜の下で幸せそうに微笑んでいる作品や、豊かな老後を花咲か爺さんをモチーフに表現している作品、将来のための年金を植物に例えて育てている作品等、どれも中学生らしくアイデアに溢れる作品ばかりでした。

最優秀賞



仙台市立中田中学校
丹羽 景柊さん

『審査アドバイザーからのコメント』

美しい桜の下に集まる幸せそうな家族。入学式の日でしょうか。新しいランドセルを背負った娘を撮影する嬉しそうなお父さん。お母さんのお腹に宿る新しい命を見つめる女の子。未来に向かってずっと続いていくであろう幸せを美しく描き上げました。明るい未来への備えである国民年金の大切さを見事に表現した一枚です。

『審査アドバイザーからのコメント』

豊かな老後を花咲か爺さんをモチーフに表現しているアイデアが秀逸です。満開の桜の木に座る爺さんはとても幸せそうです。優しい花咲か爺さんは、犬や他人を思いやる気持ちをもっていたため幸せになりました。年金も同じで、みんなで支え合うことで豊かな人生を送ることができるというメッセージが感じられるポスターです。

厚生労働省 東北厚生局長賞



宮城県古川黎明中学校
菅原 栞さん

優秀賞(3点)



東松島市立矢本第一中学校 菊池 妃珠 さん



栗原市立金成中学校 千葉 颯太 さん



宮城県古川黎明中学校 松本 華澄 さん

『審査アドバイザーからのコメント』

将来の為の年金を、植物を育てることに例えて表現しています。キラリと光るじょうろを持つ大人の手の下には、小さな子どもの手が添えられています。将来の為の年金は、世代と世代の支え合い、「世代間扶養」によって成り立っていることを表現した見事なアイデアです。

『審査アドバイザーからのコメント』

自然の中で嬉しそうに微笑み、カメラを構える老夫婦。二人で旅行にでも来たのでしょうか。二人が過ごしてきたこれまでの人生やこれからの思いを、その眼差しと口元で見事に表現しています。老後の生活を保障する公的年金の大きな役割を、日常の一場面から表現した秀逸な作品です。

『審査アドバイザーからのコメント』

写真の中には家族の幸せな一場面が描かれています。写真を連続したフィルムにすることで、安心できる生活がこれからもずっと続いていくことを感じられ、年金がその役割を担う制度であることを見事に表現しています。また、青空にかかる虹や美しい花々が、明るく希望に満ち溢れた未来を予感させる素敵なポスターです。

入選(18点)



仙台市立仙台青陵中等教育学校
岡崎 倖文さん



仙台市立袋原中学校
大槻 竜雅さん



栗原市立金成中学校
二階堂 律希さん



仙台市立第一中学校
徳山 青葉さん



仙台市立袋原中学校
齊所 妃乃さん



登米市立新田中学校
三浦 優梨さん



仙台市立第一中学校
酒本 奈緒さん



栗原市立栗原南中学校
赤間 結愛さん



宮城県古川黎明中学校
阿部 理佳子さん

入選(18点)



東松島市立鳴瀬未来中学校
相澤 瑞雪 さん



学校法人 聖ドミニコ学院
聖ドミニコ学院中学校
山田 真歌 さん



登米市立津山中学校
大森 奈々 さん



学校法人 仙台育英学園秀光
中等教育学校
鈴木 新也 さん



登米市立津山中学校
櫻田 彩 さん



宮城県古川黎明中学校
浅野 日向子 さん



登米市立登米中学校
木村 あずさ さん



登米市立登米中学校
山田 あい さん



登米市立登米中学校
田中 明日香 さん

(2) 取組状況の総括と今後の対策

総 括	今後の対策
・新型コロナウイルス感染症拡大により制限がある中での取組みとなりましたが、その中でも自治体との連携した取組みや広報誌等を活用した制度改正等の周知等、可能な範囲内で公的年金制度の制度周知を積極的に行いました。	・今後は新型コロナウイルス感染症予防対策を踏まえた取組みを前提に、「オンラインビジネスモデル実現の推進」を重点取組施策と位置づけ、対面型から非対面型による移行を更に進めた上で、自治体や関係機関と連携した取組みを進めてまいります。
・年金ポスターコンクールについては教育機関への積極的な周知活動等により、昨年度を上回る応募がありました。エッセイについては昨年度と同程度の応募数でしたが、更なる取組みの強化が必要と考えています。	・新型コロナウイルス感染症拡大による影響が少ない年金ポスターコンクールやエッセイ募集については、若年層を中心に年金制度へ関心を持っていただくための重要な取組みとして、今後とも積極的に周知してまいります。

2 年金セミナー事業

年金セミナー事業は、学生・生徒等の若年層に対して、年金制度の正しい知識や手続きを理解していただくこと、また、年金制度が身近で重要なものであることを学んでいただくための地域年金展開事業の核となる取組みになります。

令和2年度からは新型コロナウイルス感染症予防対策として、対面による実施だけでなくオンラインによる実施や、年金セミナー用動画を作成する等して非対面による取組みを推進しています。

(1) 事業の取組状況

年金セミナーの実施状況

宮城県教育庁や仙台市教育局、宮城県高等学校長協会等の関係機関へ訪問し、開催の周知を行いました。また、地域年金推進員による積極的なアプローチ、各年金事務所からの管内各教育機関に協力依頼を行い、年金セミナー実施につなげました。

しかしながら新型コロナウイルス感染症拡大による中止等により、実施件数は前年度と比較して減少しています。

○ 年金セミナー実施状況(年金事務所別)

	令和元年度 実施校数	令和元年度 実施回数	令和2年度 実施校数	令和2年度 実施回数
仙台東	12校	30回	13校	17回
仙台北	14校	17回	10校	12回
仙台南	9校	13回	9校	13回
石巻	11校	19回	9校	14回
古川	11校	14回	10校	11回
大河原	9校	12回	9校	10回
計	66校	105回	60校	77回

○ 年金セミナー実施状況(教育機関別)

	令和元年度 実施校数	令和元年度 実施人数	令和2年度 実施校数	令和2年度 実施人数
大学、短大	12校	1,949名	5校	412名
各種学校	13校	713名	13校	767名
高等学校	40校	3,569名	37校	2,671名
中学校	1校	8名	2校	5名
計	66校	6,239名	57校	3,855名

実施校数は1校を複数の年金事務所で開催するケースもあり、右記教育機関別実施状況表と相違しています。

関係団体との共同開催

これまで、仙台国税局及び全国健康保険協会宮城支部、宮城県社会保険労務士会と協力して年金セミナーの共同開催を行っており、関係団体と連携して年金制度等の周知に努めています。

○関係団体との共同開催状況

教育機関別 実施状況	令和元年度 実施回数	令和元年度 対象人数	令和2年度 実施回数	令和2年度 対象人数
仙台国税局	8回	404名	3回	90名
全国健康保険協会 宮城支部	4回	341名	1回	90名
宮城県社会 保険社労士会	1回	138名	9回	315名
計	13回	883名	13回	495名



宮城県塩釜高校で開催された、宮城県社会保険労務士会との年金セミナー共同開催の様子

関係機関・関係団体への協力依頼

宮城県教育庁や仙台市教育局、宮城県高等学校長協会等を訪問し、エッセイ募集や年金セミナー開催のほか、「わたしと年金」エッセイや年金ポスターコンクールへの応募依頼のため各学校への協力依頼を行いました。宮城県高等学校長協会に対しては、総会において年金セミナーの案内チラシ配布の依頼を併せて行いました。

地域年金推進員の活動

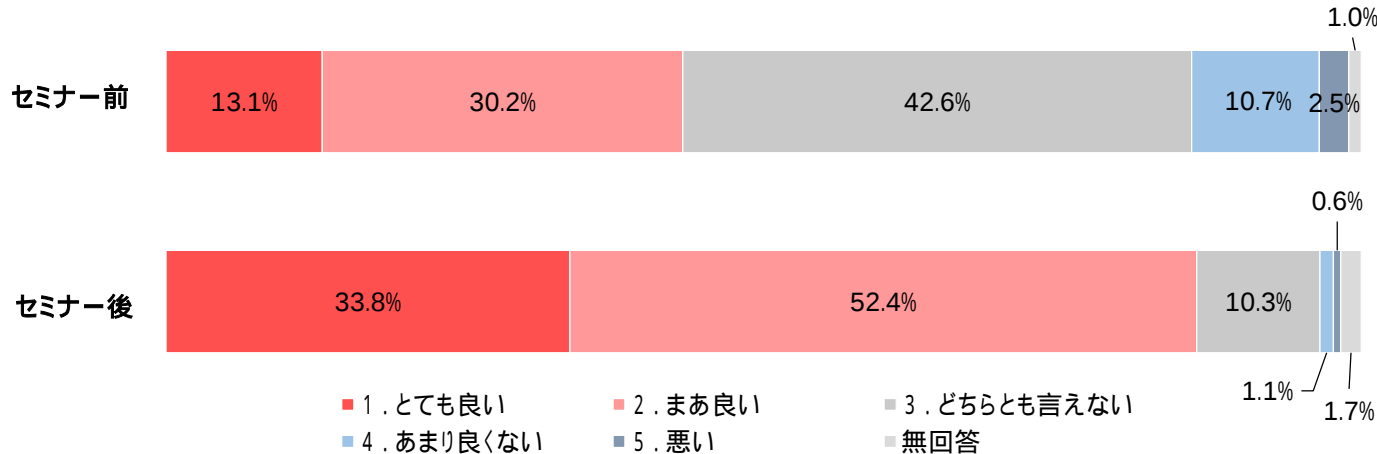
地域年金推進員は宮城県内に1名配置されており、県内全域を対象とした教育機関への年金セミナー、制度説明会のアプローチやセミナーの講師を行うこともあります。令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大により電話によるアプローチが中心となり、前年度と比較して年金セミナー等の実施件数も減少しました。

地域年金推進員とは？

次代を担う若い世代(学生)に対して、公的年金制度の仕組みや基本理念について正しい理解の普及を推進するため、教職員OB、現役の教職員、学校との関係や学生へ伝える能力があると拠点長が判断する者を委嘱しています。地域年金推進員は、学校への年金セミナー実施の依頼や打ち合わせ等の活動を行います。

年金セミナーアンケート結果(宮城県) ～「年金」に対するイメージ～

対象(アンケートを実施したすべての大学・短大・各種学校・高等学校) 令和2年度分



< 主なご感想 >

・国民年金について今までテレビやメディアだけの知識だったが、今回の講義を受けて、ニュートラルな知識を得ることができたと感じた。(大学生)

・年金について、保険料を支払っておくことで老後にお金もらえるという認識しかできていなかったが、万が一の障害などにも年金の給付があると知って、年を取って老齢年金を給付されるまで保険料を支払うだけという認識から、万が一の時に向けても必要なものであると、認識を変えることができた。(大学生)

・保険料を納めることがもし困難な場合、免除や猶予の制度があることなどを、今まで漠然としか知らなかった年金制度をより深く知ることができた。(大学生)

・普段、年金について話を聞く機会がないので、今回のセミナーで年金について知ることができて良かった。もうすぐ20歳になるので、ガクという制度があることを頭に入れておきたいと思う。(専門学校生)

・年金についてあまり詳しく知らなかったが多くの種類の年金制度があることが分かった。やはり老後の生活に必要なものだと改めて実感した。(専門学校生)

・高齢者が安心して生活できるように世代と世代の支え合いが大切だと思った。(高校生)

・保険料を納めることは国民の義務ということが分かった。公的年金制度は今後、大事になると思った。(高校生)

(2) 取組状況の総括と今後の対策

総 括	今後の対策
・電話・書面による関係機関等への協力依頼や地域年金推進員を中心にアプローチを行いましたが、新型コロナウイルス感染症拡大による影響のため、年金セミナー事業は前年度を大きく下回る実施件数となりました。	・今後は前々年度に年金セミナーを実施いただいた教育機関へのアプローチを積極的に行うとともに、オンラインセミナーや動画視聴型セミナー等、複数の形式の中から各教育機関にあったセミナーを選択可能とすることで、より多くの学生・生徒の皆様が年金セミナーを受講していただけるよう、アプローチを進めてまいります。
・これまで各関係団体との協力・連携により、節度説明会の共同開催を行ってきましたが、新型コロナウイルス感染症拡大による影響のため開催回数は減少し、共同開催が行えなかった団体もありました。	・引き続き、教育機関からの要望に応じた年金セミナーを実施するため、各関係団体との更なる連携を図りながら、オンラインセミナー等様々な方法によるセミナーを実施し、公的年金制度の理解を深めていただけるよう努めてまいります。

3 年金委員活動支援事業

令和2年度の取組みについては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、年金委員連絡会や研修会等が中止または書面開催となる等、積極的な取組みができない状況でした。しかしながら様々な制度改革等が行われているなか、正しい年金制度の知識や手続き等を周知することは重要であることから、地域型、職域型それぞれの年金委員の活動に対して、対面ではなく書面や電話を活用した情報発信を図りました。また全国年金委員研修会を日本年金機構のテレビ会議システムを活用して実施する等、非対面を意識した取組みを積極的に行いました。

(1) 事業の取組状況

年金委員への研修会、意見交換会

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、対面による取組みが難しい状況となりましたが、その中でも職域型年金委員に対して、別件で集まる機会を利用して研修会を実施する等、工夫して取組みを行いました。

全国年金委員研修については日本年金機構のテレビ会議システムを使用して年金委員の皆様へ管轄する年金事務所に越えいただきオンライン開催する等して、非対面による取組みも実施しました。

研修終了後には、参加いただいた年金委員の方々と意見交換を行い、今後の年金委員活動についてのご意見をいただきました。また、一部の職域型年金委員の方には、モデル実施としてWeb会議ツールを活用し、職場等から研修に参加していただきました。



仙台東年金事務所での全国年金委員研修の様子

日本年金機構本部からの情報提供

日本年金機構本部から職域型及び地域型年金委員に対して、制度の活用と周知・広報を目的として6月と11月に資料等を送付し、情報提供を行いました。資料には年金委員の活動例等を詳しく掲載し、年金委員が活動するために参考になる情報を多数掲載しています。

年金委員表彰式の実施

多年にわたり年金事業の推進及び発展に貢献された年金委員の方々に、年金委員功労者表彰伝達式を開催しました。

開催にあたり、宮城県社会保険委員会連合会及び全国健康保険協会宮城支部、宮城県社会保険協会との共催により実施しました。

開 催 日 令和2年11月20日

開催場所 ホテルメルパルク仙台

表彰対象	厚生労働大臣表彰	1名
	日本年金機構理事長表彰	6名
	全国健康保険協会理事長表彰	3名
	日本年金機構理事表彰	16名
	全国健康保険協会宮城支部長表彰	9名
	仙台東年金事務所長感謝状	5名
	仙台北年金事務所長感謝状	5名
	仙台南年金事務所長感謝状	5名
	石巻年金事務所長感謝状	5名
	古川年金事務所長感謝状	3名
	大河原年金事務所長感謝状	3名



表彰伝達式の様子

年金委員の委嘱拡大に向けた取組

全国健康保険協会宮城支部より、健康保険委員の新規委嘱を受けた方のうち、日本年金機構への個人情報提供に同意をいただいた方に対して年金委員の委嘱勧奨を実施しました。

また、加入者10人以上の事業所を対象とした新規委嘱の勧奨や加入者300人以上で、すでに1名の年金委員が設置している事業所に対して追加の勧奨を行うなどして取組んだ結果、職域型年金委員数を中心に増加傾向となっています。

○年金委員委嘱者数

	職域型年金委員数		地域型年金委員数	
	令和元年度末現在	令和2年度末現在	令和元年度末現在	令和2年度末現在
仙台東	430名	490名	22名	24名
仙台北	531名	527名	26名	24名
仙台南	429名	426名	18名	18名
石 巻	508名	506名	20名	21名
古 川	543名	548名	18名	18名
大河原	283名	297名	8名	8名
計	2,724名	2,794名	112名	113名

(2) 取組状況の総括と今後の対策

総 括	今後の対策
・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、対面型による研修会や連絡会は実施できませんでしたが、新形式としてテレビ会議システムを利用した非対面型の会議を実施することができました。	・今後も、テレビ会議システム等も活用した様々な形による研修会等の拡充を図るとともに、年金委員の非対面による活動も含め、必要な情報提供の充実を図ってまいります。
・職域型年金委員については事業所への新規及び追加の委嘱勧奨を行ったことにより増加傾向となっており、地域型年金委員についても微増となっています。	・引き続き、職域型年金委員については新規委嘱の勧奨や大規模事業所への複数人委嘱、地域型年金委員については日本年金機構OBや社会保険労務士会等、関係団体への働きかけを積極的に行い、委嘱拡大に向けた取組みに努めてまいります。

4 「ねんきん月間」「年金の日」の取組

毎年11月を「ねんきん月間」として、公的年金制度の普及・啓発活動を展開しています。特に11月30日(いいみらい)を「年金の日」として、国民の皆様にご公的年金制度を身近に感じていただき、公的年金制度に対する理解を深めていただくことを目的とした取組みを実施しています。

○「ねんきん月間」における取組内容

令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、ねんきん月間においても積極的な取組みができず、例年実施していた教育機関における学生納付特例申請相談会や公共施設・商業施設における国民年金保険料納付相談会等の取組みは実施することができませんでした。

しかしながら、第2回宮城県ポスターコンクールの授賞式・作品展をはじめ、年金セミナーの実施や生活保護担当の市町村職員を対象とした年金制度説明会、職域型・地域型年金委員への情報提供、年金委員の委嘱拡大の取組み等を可能な範囲で積極的に行いました。



「年金の日」のチラシ

5 宮城県地域年金事業運営調整会議

地域住民の公的年金制度に対する理解をより深め、制度の加入や保険料納付の向上に繋がるよう、地域における支援のネットワーク等を構築し、地域に根ざした年金事業の推進を積極的に図ることを目的として、地域年金事業運営調整会議を開催しているところですが、第15回会議は新型コロナウイルス感染症予防対策のため、書面による開催となりました。

○第15回書面会議でいただいたご意見に対する回答

事業種類	ご意見	回答
地域連携・相談事業	ポスターコンクールの作品はどれも素敵なお作品です。仙台市以外からの多数の応募がありますので、仙台市以外(県北や県南など)での展示も検討していたければと思います。	ポスターコンクールの作品展については、県北や県南に位置する駅を中心に、開催に向けた調整を行ってまいります。
	ポスターコンクール最優秀賞、東北厚生局長賞は明るいイメージで大変出来がよいと思います。	ありがとうございます。引き続きより多くの中学校から参加していただけるよう、積極的にアプローチ等を行ってまいります。

事業種類	ご意見	回答
地域連携・相談事業	「わたしと年金」エッセイについて、ポスターに比べると応募数やその伸びが少ないように感じます。広報や応募方法など、改善できそうなことはあるでしょうか。	「わたしと年金」エッセイについては、ポスターコンクールと比較すると応募するためのハードルが高く応募件数は多くありません。応募件数増加に向け教育機関に対してポスターコンクールと併せて勧奨を行う等、積極的にアプローチを行ってまいります。
年金セミナー事業	年金セミナー事業が着実に成果を上げていることは評価できます。セミナー事業の効果測定として、例えば20歳代前半の未加入・未納が減少しているかどうかなどの検証はできないでしょうか。	令和元年10月以降、20歳到達者は職権適用で強制的に国民年金に加入されることとなっています。現状では年金セミナーのみの効果測定は困難ですが、年金セミナーの効果もあり20歳代前半の納付率は年々上昇しています。
	この新型コロナウイルス感染症拡大の状況の中で、年金セミナーの実施状況を見ると大変努力されていると思います。	ありがとうございます。引き続き新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底した上で、年金セミナーを実施してまいります。

事業種類	ご意見	回答
年金セミナー事業	大崎市では、平成29年度より市内にある特別支援学校高等部の卒業前の生徒の保護者を対象に障害年金制度の概要説明を行っています。平成29年度及び平成30年度は本市が取り次ぎ管轄の年金事務所に講師の任をお願いしていましたが、令和元年度以降お引き受けいただけなくなりました。「各教育機関との連携」の項目に、「県内特別支援学校での保護者向け障害年金制度説明会の実施」があることから、地域連携事業の一環として、年金事務所には積極的に説明会の講師の任をお引き受けいただくことを望みます。また、説明会を全県的に実施している場合、実施結果資料に実績の記載があると参考になります。	特別支援学校における障害年金制度説明会の実施については地域年金展開事業の重要な取組みの一つとして積極的に推進しているところです。また、令和3年度より、仙台東年金事務所に配置されている障害年金給付の専門職員が障害年金にかかる制度説明会の講師を務める予定となっておりますので、制度説明会の実施や講師派遣のご要望がございましたら、仙台東年金事務所までご連絡いただくようお願いします。

事業種類	ご意見	回答
年金セミナー事業	新型コロナウイルス感染症拡大の影響が長引きそうなので、今後はオンラインを活用した年金セミナーへの取り組みが重要だと思います。	年金セミナーについては、教育機関からのご要望も考慮した上で、非対面形式による実施を推進してまいります。
	セミナー事業の方ではオンラインでの開催が進められているようですが、地域相談事業においても、大学での納付相談であればリモートでの開催ができないでしょうか(給付相談はなかなか難しいでしょうが)。	現時点では教育機関における国民年金納付相談会等の開催は困難ですが、離島におけるテレビ電話相談の実施等、非対面によるお客様対応を拡充していく予定です。
	年金セミナーについて、リアルタイムのセミナーだけでなく、オンデマンド授業用のコンテンツ(動画など)を製作してみるのはいかがでしょうか。	令和2年11月に年金セミナー用動画(DVD)を作成し、現在は対面型・非対面型・動画提供型等様々な方法により年金セミナーを実施しています。
年金委員事業	年金委員の数が減っていないのは、大変いい事だと思います。	ありがとうございます。引き続き年金員の委嘱拡大に向け、様々な取り組みを行ってまいります。

事業種類	ご意見	回答
地域年金事業 運営調整会議	原則、年1回の開催になった経緯は承知しておりますが、令和元年度の事業の実施結果の報告時期としては遅いと思われます。開催時期については見直しが必要かと思えます。	令和2年度は新型コロナウイルス感染症予防対策のため、初めての書面開催となったことから開催時期が例年より遅い1月開催となりました。今年度以降は例年通り7月開催を予定しております。
その他	年金相談の予約がなかなか取りづらいという声をよく耳にします。これに対してどのような取組みをしていくのでしょうか。また、予約相談を始めた当初と比べて現状はどのようになっているのでしょうか。	令和3年度は、予約申し込みをした日から歴日で10日以内の予約相談を目標として実施していること、女性の請求年齢引き上げで相談者が減ることから、予約は取りやすくなると思われます。 予約相談を始めた当初は予約制が浸透しておらず、予約なしで来所されるお客様が多かったですが、現在は、ほぼ予約相談となっており、お客様にとっては待ち時間がなくスムーズな年金相談を受けていただいております。
	この新型コロナウイルス感染症拡大の状況がいつまで続くかわかりませんが、この令和3年度も積極的な活動をお願いしたいと思います。	令和3年度についても引き続き新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底した上で、地域年金展開事業を実施してまいります。

6 年金事務所の取組

仙台東年金事務所

○ オンラインによる地域年金展開事業の開始

令和3年2月より、年金機構のインターネット専用端末を利用したオンラインによる年金セミナーや制度説明会、年金委員研修を実施する取り組みが、管内の年金事務所に先駆けて開始となりました。これにより、Web会議ツール(Microsoft Teams)を利用して年金事務所と受講者(学校や個人)をオンラインで結び、モニターを通じてセミナー等を実施することが可能となり、新型コロナウイルス感染症予防対策の観点からも、安心して、効率的に年金セミナー等を受講していただくことが可能となりました。



オンラインによる制度説明会の様子
令和2年度は4回実施

○ 年金委嘱拡大の取り組み

仙台東年金事務所管内において、職域型年金委員が推薦されていない被保険者5名以上の事業所に対し、年金委員の委嘱に関する勧奨チラシを2,315件送付し、令和2年度は新たに91名の方に職域型年金委員として活動していただくこととなりました。引き続き、職場や地域でご活躍いただく年金委員の委嘱拡大の取り組みを継続してまいります。

仙台北年金事務所

○年金セミナー事業

令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、対面によるセミナーは8月からのスタートとなり、上期は1校2回、下期は8校8回の実施となりました。

また、DVDによる年金セミナーを12月に2校2回実施し、合わせて11校12回の実施となりました。

しかしながら、昨年度に比べ、実施回数が7回少なくなっております。これも新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、セミナーの開始が遅くなった点と、対面のセミナーを希望しない学校も少なくなかったことが要因と考えます。新型コロナウイルス感染症が収束しないことから受け入れに消極的になっており、DVDによるセミナーやリモートセミナーを希望する学校が増えつつあります。

令和3年度後半からは、リモートによる年金セミナーも予定されておりますので、セミナーの在り方も変わってくると予想されます。

セミナー実施後のアンケートによると、ほとんどの受講者から年金のしくみについて「大幅に理解ができた」との統計もあり、若い年代から年金を知ってもらうことが重要であることを実感できました。



令和2年12月4日 東京IT会計専門学校での年金セミナーの様子

仙台南年金事務所

○年金セミナー事業

令和2年度の年金セミナーは、新型コロナウイルス感染症が拡大する中、開催することすら危ぶまれましたが、地域年金推進員と連携を図り、感染拡大防止対策を十分に講じながら年金セミナーを実施してきました。

今年度の特徴としては、オンラインによるセミナーの実施やセミナー用DVDを学校へ送付して授業で視聴していただくなど、新型コロナウイルス感染症予防対策を踏まえ、学校側のニーズに応えながらセミナーを実施してきました。オンラインによるセミナーは、これまでの対面型と違い、カメラ越しのため生徒が理解しているかどうか表情で確認することが難しく、講師の説明もどこかぎこちない感じではありましたが、セミナーを実施した後に問題点や課題を講師同士で話し合い、次年度に活かせるように分析を行いました。未だ終息が見えない中ではありますが、社会の変化に合わせた質の高いセミナーを開催できるように今後も講師の育成に努めてまいります。



年金セミナーの様子

○地域連携事業

9月に宮城県内の中学生を対象として実施された「第2回宮城県年金ポスターコンクール」において、当事務所管内の生徒が最優秀賞を受賞しました。授賞式には、校長先生をはじめ受賞者の保護者も参列され、学校関係者の方々にも公的年金制度を身近に感じていただきました。「一目千本桜」の下に集まる幸せそうな家族が描かれており、明るい未来への備えである国民年金の大切さを見事に表現した秀逸な作品で、電力ビル1階「アクアホール」や青葉通地下道ギャラリーに受賞作品が展示されました。

石巻年金事務所

○年金セミナー事業

令和2年度は8校、計13回の年金セミナーを実施しました。そのうち2校は、年金セミナー用動画(DVD)で実施しました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、開催を中止した学校が1校あり、実施結果は、元年度に比べ3校6回減という結果になってしまいました。また、日程の変更もあり、調整に苦労した1年でもありました。年金セミナー実施後のアンケートでは、「年金のイメージが良くなった。」との回答が大幅に増加し、「年金制度は必要である。」との回答が大半を占めており、年金セミナーによる年金制度の周知の重要性を感じております。

昨年度に引き続き開催した学校が大半を占めておりますが、令和3年度からは、オンラインによる年金セミナーも予定されておりますので、さらなる実施拡大に取り組んでいく予定です。



気仙沼市立病院附属看護専門学校での
年金セミナーの様子

○地域相談事業

令和2年度の出張年金相談件数は、気仙沼出張年金相談所において3,940件(一日あたり平均16.2件)、南三陸町出張年金相談は18件(隔月奇数月)実施致しました。事前予約による相談が周知されたことや、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、気仙沼出張相談所の相談者は、元年度に比べ567件減少しました。

令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、南三陸町の出張年金相談は開催しないことになりましたが、事務所と気仙沼出張年金相談所と連携を取りながら、お客様に寄り添った対応に取り組んでいきたいと考えております。

古川年金事務所

○年金セミナー事業

昨年度開催回数9回を上回る開催を目標に、高等学校・大学・専門学校を中心に実施しました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により学校側からのキャンセルが出たりしましたが、DVDによる動画提供での開催も実施し、11校で年金セミナーを開催できました。

このような結果もあり、新型コロナウイルス感染症予防対策として、オンライン(非接触)での開催の必要性を認識できました。



年金セミナーの様子

○年金委員活動支援事業

例年行っていた委員の皆様に対しての連絡会・研修会は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で開催することができず、広報誌の送付、「ねんきん月間」「年金の日」を周知するポスターの送付により年金委員との連携を絶やさないよう取り組みました。

また、新型コロナウイルス感染症拡大防止につながる「電子申請」「ねんきんネット」の利用促進を図るための、周知チラシの送付についても継続し取り組みました。

大河原年金事務所

○年金セミナー事業

令和2年度は、上期からの開催を予定していましたが新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、12月からの開催となりました。実施回数は前年度から2回減となりましたが、管内の高校9校、そのうち対面式は6校、今年度新たに実施となったDVD視聴によるセミナーは3校で開催することができました。

今年度からセミナーを受講した学校もあり、受講後のアンケートから、受講前と受講後の年金のイメージの変化や制度に対する率直な意見もいただいております。制度周知の重要性を改めて認識しております。

令和3年度は、オンラインでのセミナーも予定されています。講師のスキル向上を図り、引き続き、分かりやすい年金制度の周知に努めてまいります。



年金セミナーの様子

○年金委員活動支援事業

例年は対面式での職域型及び地域型年金委員向けの研修会、地域型年金委員連絡会にて制度周知を実施してきたところですが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響のため、文書での周知が主となりました。その中で、地域型年金委員の企画により、年金出前講座が地域で対面式で開催され、講師を派遣して制度広報を行って参りました。また、「ねんきん月間」には、本部主催の職域型及び地域型年金委員対象の全国年金委員研修会が年金事務所にてオンラインで開催されました。引き続き、委員活動を支援していくとともに、委嘱拡大に向けた取り組みを進めてまいります。



年金出前講座の様子